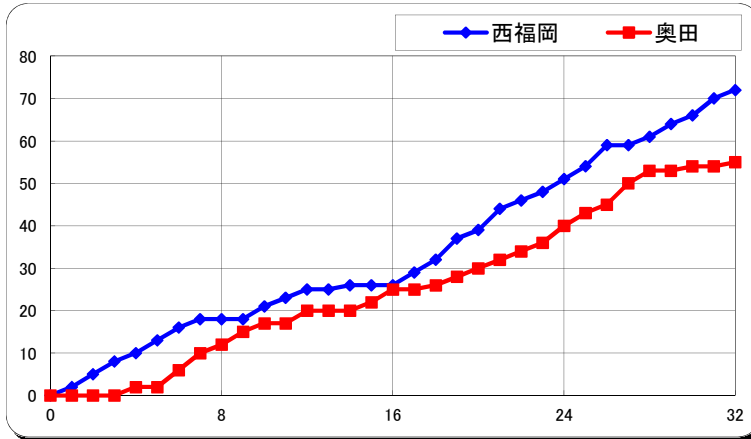




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	さいたま市記念総合体育館																
日時	平成24年8月24日(金) 14:55																
コート	Mコート	第4試合															
カテゴリー	男子	決勝トーナメント 決勝															
主審	福岡 敏徳	(本部)															
第1副審	二宮 隆二	(茨城)															
第2副審	御手洗 亮	(大分)															
Team A		Team B															
西福岡 (福岡県)	72	55 奥田 (富山県)															
	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>8</td><td>2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>25</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>21</td><td>4th</td><td>15</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	18	1st	12	8	2nd	13	25	3rd	15	21	4th	15	OT			
18	1st	12															
8	2nd	13															
25	3rd	15															
21	4th	15															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		西福岡						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	酒井 達也	×	16	3	3	1	2	
5	吉田 乙輝	×	6	0	3	0	1	
6	高木 トニ-八十吉	×	6	0	3	0	4	
7	吉川 拓人	DNP	0	0	0	0	0	
8	重富 周希	DNP	0	0	0	0	0	
9	重富 友希	DNP	0	0	0	0	0	
10	大庭 椋	DNP	0	0	0	0	0	
11	山崎 純	×	8	2	1	0	1	
12	永野 聖汰	DNP	0	0	0	0	0	
13	牧野 圭吾	/	0	0	0	0	0	
14	松脇 圭志	×	36	7	7	1	3	
15	野元 啓太郎	DNP	0	0	0	0	0	
16	樋口 博之	DNP	0	0	0	0	0	
17	山下 龍	DNP	0	0	0	0	0	
18	野口 大那	DNP	0	0	0	0	0	
監督	鶴我 隆博						0	
コーチ	0						0	
合計			72	12	17	2	11	

Team B		奥田						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	長友 陸矢	×	11	3	1	0	1	
5	笹倉 怜寿	×	9	0	4	1	1	
6	八村 塁	×	20	0	7	6	0	
7	畑 知輝	×	5	1	1	0	0	
8	横山 詢	DNP	0	0	0	0	0	
9	川村 悠登	DNP	0	0	0	0	0	
10	小柴 匡暁	DNP	0	0	0	0	0	
11	杉山 佑季	DNP	0	0	0	0	0	
12	飴谷 由毅	DNP	0	0	0	0	0	
13	柳瀬 亮	/	5	1	1	0	1	
14	高橋 龍弥	/	2	0	1	0	2	
15	西頭 飛翔	×	3	0	1	1	0	
16	吉田 拓生	DNP	0	0	0	0	0	
17	岡山 翔太郎	/	0	0	0	0	0	
18	奥野 亮	DNP	0	0	0	0	0	
監督	西田 直彦						0	
コーチ	坂本 穰治						0	
合計			55	5	16	8	5	

【戦評】

男子決勝は九州代表西福岡と北信越代表奥田の対戦となった。西福岡は1-3-1ゾーンDef、奥田はハーフコートマンツーマンDefでスタートし、互いに様子を見るかのような静かな立ち上がり。均衡を破ったのは、西福岡、#14の強気なドライブからバスケットカウントを得ると、#4のスチールからのレイアップ、#14のミドルシュートと連続得点。得点のできない奥田はタイムアウト。奥田#6の長身を生かしたインサイドで初の得点。その後、リズムの出た奥田は#4の3Pをはじめ外角からのシュートが決まり出す。奥田の#6の高さにてこずった西福岡は#4、#11の外角シュートで得点。西福岡18-12奥田で1Qを終える。2Q開始早々、奥田#4が3Pを決め、盛り上がる。西福岡は#14の1対1から連続3ゴール。奥田も#6のインサイド、#4の3Pで応戦する。その後、両チームともシュートが決まらず時間が流れ、残り1分30秒で西福岡がタイムアウトを取るが、直後に奥田#13の3Pがきまり、西福岡26-25奥田で前半終了。

3Qに入り、西福岡の#14が1対1から3P3本を含む連続4ゴールで突き放しにかかる。奥田もインサイドを攻めフリースローを得るが、1本ずつしか決められず点差が徐々に開いていく。西福岡は#4、#11のドライブ、3Pが決まり、3Qを西福岡51-40奥田で終える。4Qに入っても、西福岡#14の1対1からの得点は止まらない。対する奥田も#6のインサイド#7、#4の3Pについていき、残り4分で8点差まで迫るが、ここで再び西福岡#14の連続ゴールで引き離される。奥田はタイムアウトを取り、巻き返しを計るが、得点できず西福岡72-55奥田で試合終了。西福岡が卓越した個人技術と冷静な試合運びで、全国優勝の栄冠に輝いた。

【戦評記入者】

玉川 敏史